

# 『日本福祉のまちづくり学会活動表彰 まちづくり・人の輪づくりコンテスト』 募集要領

## ■実施主体：

日本福祉のまちづくり学会（第10回大会実行委員会）

## ■後援：

埼玉県、朝霞市、埼玉県教育委員会、埼玉県社会福祉協議会ほか

## ■主旨：

この度、日本福祉のまちづくり学会第10回全国大会の埼玉県における開催を記念し、県内各地で展開されている多様な福祉のまちづくり活動の情報交流と、一層の普及促進を図ることを目的として、『まちづくり・人の輪づくりコンテスト』を実施します。

このコンテストは、日本福祉のまちづくり学会が主催するものです。日本福祉のまちづくり学会は、法律学、社会福祉学、経済学、情報・通信工学、理学療法学、作業療法学、人間工学、リハビリテーション工学、医学、造園学、土木工学、建築学、都市計画学など市民の生活基盤づくりに関係するあらゆる分野が結集し、市民生活の機会均等と生活の質の向上に向けた取り組みを進めています。

## ■対象：

下記の例示のようなテーマで、埼玉県内における活動を対象とします。活動主体は県外でも構いません。

## ■募集する活動のテーマ：

様々な視点からの福祉のまちづくり、バリアフリー、ユニバーサルデザインの活動を募集します。継続的に取り組まれている各地の事例にとどまらず、これから取り組まれる活動、今後の可能性が感じられる活動提案も広く募集します。

### <募集活動例>

(ここに挙げるものは一例です。えっ？こんな視点の活動があったのか！と目から鱗が落ちるような、オリジナリティ溢れるみなさん自慢の活動でどしどしご応募下さい。)

- ・バリアフリー化やユニバーサルデザインの普及に係る環境の点検やマップづくり、整備改善に向けた活動（特に、市民、利用者参加などその取り組みで工夫している活動）
- ・地域とのかかわりを意識している高齢者や障がい者の活動や小規模作業所の取り組み（例えば商店街との連携、福祉農園と地域住民の連携、外出支援、リサイクル活動など）
- ・障がい者も一緒に働けるような職場環境の改善やサポート体制作りにも努めている企業
- ・子ども、子育て支援、親のメンタルケアなどを地域とのかかわりで展開している活動（例えば冒険遊び場づくり、父親の子育て参加のための環境整備、子どもが主体となった地域活動）
- ・地域で一緒に暮らす仲間としての外国人支援の活動（例えば、語学、パソコン、地域防災訓練など）
- ・住環境の改善に向けた地域の取り組み（例えば老朽化・高齢化が進む団地の建て替えプロセス、支援活動など）
- ・政策や社会制度に対する提言活動（例えば市民参加や市民の自発的な地域福祉計画への取り組みなど）
- ・情報発信を通じたネットワーキング（例えばアクセシビリティに配慮したホームページ立ち上げ支援とネットワーク構築）
- ・上記のような活動に対するバックアップ（例えば企業や教育機関等による場所貸し、人貸し、資金援助）

## ■応募者の資格：

任意の市民団体／グループ、NPO 法人、大学等の研究機関、学生サークル、公民館活動団体、民間企業、公益団体、地方行政団体など、個人の活動でなければ団体・組織の形態は問いません。（自薦、他薦を問いません）

また、活動が埼玉県内におけるものであれば、実施主体は埼玉県外でも構いません。

## ■募集期間

平成 19 年 1 月 29 日～平成 19 年 4 月 27 日（消印有効）

## ■応募方法と注意：

所定の応募用紙に必要事項を記入し、応募用紙提出先まで郵送してください。

応募用紙は、日本福祉のまちづくり学会ホームページから入手できます。

なお、応募書類は返却いたしません。また、応募用紙の活動写真により、大会会期中「埼玉 まちづくり・人の輪づくり写真展」を開催する予定です。詳細はホームページでお知らせいたしますが、是非ご参加下さい。

## ■審査及び発表：

審査は一次選考と最終選考の二段階です。

## ○一次選考：

日本福祉のまちづくり学会第 10 回大会実行委員会で応募書類を審査します。

一次選考では、10 団体（予定）を入選団体とし、結果は直接通知するとともにホームページに掲載させていただきます。（平成 19 年 5 月中旬予定）

一次選考を通過した入選団体には、賞金 1 万円を贈呈します。この賞金は、第 10 回大会における最終選考に臨むための諸経費としてご使用下さい。

入選団体は A2 サイズ 2 枚のパネル製作と、平成 19 年 8 月 22 日に行われる全国大会における最終プレゼンテーションに参加していただきます。あらかじめご承知おき下さい。

最終選考に向けたパネル製作やプレゼンテーションの詳細は、一次選考入選団体にお知らせします。

## ○第 10 回大会におけるプレゼンテーションと最終選考：

平成 19 年 8 月 22 日に行われる全国大会で、パネル展示とプレゼンテーションに基づく最終公開審査を行います。

最終選考の結果は、その場で発表・表彰させていただきます。

## ■表彰：

最優秀賞 1 団体（賞金 10 万円）

各賞 若干（賞金 5 万円）

## ■応募先・問い合わせ先：

日本福祉のまちづくり学会 第 10 回大会実行委員会 事務局  
東洋大学ライフデザイン学部人間環境デザイン学科内 （担当）名取  
〒351-8510 埼玉県朝霞市岡 48-1

TEL048-468-6351 FAX 048-468-6349（米田事務局長研究室直通）

<http://fukumachi.net/> mail:bf2006@fukumachi.net

## ■日本福祉のまちづくり学会について

日本福祉のまちづくり学会は、21世紀の超少子高齢社会を見据えて、法律学、社会福祉学、経済学、情報・通信工学、理学療法学、作業療法学、人間工学、リハビリテーション工学、医学、造園学、土木工学、建築学、都市計画学など市民の生活基盤づくりに関係するあらゆる分野が結集し、福祉のまちづくり、バリアフリー、ユニバーサルデザインを総合的に推進する学際的な学術団体として、1997年7月に設立されました。

会員は、全国各地から市民、行政、研究者、企業、コンサルタントなど多様な方々が参加しており、2006年現在約850名の会員数です。毎年全国大会を各地で開催するほか、公開研究会、シンポジウム、定期刊行物「福祉のまちづくり研究」の発行などの諸活動を推進しています。関西、九州、東北には支部組織が設置され、地域のまちづくりにも積極的に参画しています。

会員資格はとくになく、誰もが会員になれます。正会員の年会費は5,000円です。学生会員、法人会員、賛助会員制度もあります。是非この機会に入会して頂き、国内外の福祉のまちづくり、バリアフリー、ユニバーサルデザインに関わるさまざまな情報交流の輪にあなたも加わりませんか。新しい皆様のご入会をお待ちしています。

## ■日本福祉のまちづくり学会 第10回全国大会の開催概要

日本福祉のまちづくり学会平成19年度の全国大会（第10回記念大会）は、埼玉県朝霞市にある東洋大学朝霞キャンパスで開催します。大会では、一般研究発表のほか日本、中国、韓国による国際シンポ（時期を早める可能性あり）、福祉のまちづくり記念シンポジウム、展示会など多数の企画が予定されています。この機会に、福祉のまちづくりに関心を持つ多くの県民の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

◆大会テーマ 「福祉のまちづくり 未来への継承」

◆開催日時 2007年8月21日(火)・22日(水)

◆開催場所 東洋大学朝霞キャンパス (〒351-8510 埼玉県朝霞市岡 48-1)

◆主要企画 記念シンポ「福祉のまちづくり・これからの10年」  
地元密着型イベント「埼玉県下の福祉のまちづくりコンクール」  
基調講演「アスリートからみた世界の街角」

大日方邦子 NHK ディレクター、パラリンピック金メダリスト  
研究論文発表会

展示会 NPO 住民活動、コンクール作品、企業展示会

◆研究発表応募要領

○応募資格：(連名者も含めて) 本学会の会員

○研究発表テーマ：原則自由

○研究発表の登録期限：2007年2月15日～4月9日(月)

○本論文の提出期限：2007年5月21日(月)

○論文発表の申込・問い合わせ先：日本女子大学家政学部住居学科 担当：佐藤克志  
〒112-8681 東京都文京区目白台2-8-1

TEL:03-5981-3457 (佐藤研究室直通)、FAX:03-5981-3453

E-mail: omura@fc.jwu.ac.jp

尚、ご質問等は、できるだけE-mail、ファックスでお願いいたします。

◆大会実行委員会事務局 東洋大学ライフデザイン学部人間環境デザイン学科内  
〒351-8510 埼玉県朝霞市岡 48-1  
Tel 048-468-6349 i-yoneda@toyonet.toyo.ac.jp